

製品名: サイクリン D3 (リン酸化 Thr283) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04523**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000 |
| 分子量 | 32kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | CCND3 |
| 別名 | CCND3; G1/S-specific cyclin-D3 |
| 遺伝子 ID | 896.0 |
| SwissProt ID | P30281 |
| 免疫原 | 抗血清は、ヒトサイクリン D3 の Thr283 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 243-292 |

背景

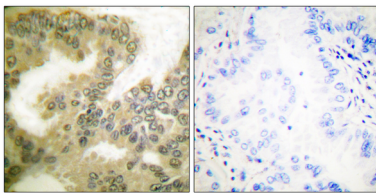
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、高度に保存されたサイクリンファミリーに属し、そのメンバーは細胞周期を通して

タンパク質存在量の劇的な周期性によって特徴付けられる。サイクリンは CDK キナーゼの調節因子として機能する。異なるサイクリンはそれぞれ異なる発現および分解パターンを示し、各有糸分裂イベントの時間的調整に寄与する。このサイクリンは、細胞周期の G1/S 期遷移に活性を必要とする CDK4 または CDK6 と複合体を形成し、その調節サブユニットとして機能する。このタンパク質は、腫瘍抑制タンパク質 Rb と相互作用し、そのリン酸化に関与することが示されている。このサイクリンに関連する CDK4 活性は、紫外線照射後の細胞周期が G2 期を経て有糸分裂へと進行するために必要であると報告されている。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見出されている。[RefSeq 提供、2008 年 10 月]、機能: G1/S 期 (開始期) 遷移における細胞周期の制御に必須。 ATF5 の転写活性を増強する。、類似性: サイクリンファミリーに属する。、類似性: サイクリンファミリーに属する。サイクリン D サブファミリー。、サブユニット: CDK4 および CDK6 プロテインキナーゼと相互作用して、セリン / スレオニンキナーゼホロ酵素複合体を形成する。サイクリンサブユニットは複合体に基質特異性を付与する。 ATF5 と相互作用する。 EIF3K と相互作用する。、

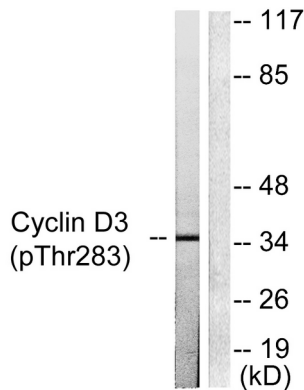
研究分野

Cell_Cycle_G1S;Cell_Cycle_G2M_DNA;p53;WNT;WNT-T CELL 焦点接着;Jak_STAT;

画像データ



サイクリン D3 (リン酸化 Thr283) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



UV 5 '処理した K562 細胞ライセートのサイクリン D3 (リン酸化 Thr283) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。